



PRESS RELEASE

2025年11月17日

アッヴィ、PRIDE 指標 2025 で最高位の「ゴールド」を5年連続受賞。併せて、製薬業界初となる「レインボー認定」を3年連続受賞

- 多様な視点を尊重し、インクルーシブな文化を醸成し、尊厳と敬意を持って人々に接することがアッヴィのコミットメント
- インクルージョンを推進する従業員リソースグループ(ERG)の一つである PRIDE(プライド)が啓発活動をけん引

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ティアゴ・カンポス ロドリゲス)は一般社団法人 work with Pride が2025年11月14日に発表したPRIDE 指標 2025で、最高位の「ゴールド」を5年連続で受賞したことをお知らせします。さらにコレクティブ・インパクト*型の取り組みが評価される「レインボー認定」を、製薬業界で初めて3年連続で獲得しました。

私たちはアッヴィで働く全ての人々に、平等にそして尊厳と敬意を持って接します。インクルーシブな職場でこそ最高の成果を生むという理念のもと、社内では4つの従業員リソースグループ(ERG)と人事部門が連携してインクルージョンを推進しています。PRIDE グループはその推進体制の一翼を担うERGの一つとして、「LGBTQ+を一つの個性として認め合い、ありのままの自分で活躍でき、カミングアウトしなくても心地よい職場環境であること」を目指しています。

PRIDE グループは、制度整備、啓発イベント・研修の実施、当事者支援など継続的に取り組んでいます。任意のアライ表明とその可視化(ステッカーやネックストラップなど)は、当事者が「味方がいる」と実感できる心理的安全性を高め、カミングアウトの有無にかかわらず安心して力を発揮できる職場づくりにつながります。こうした社員一人ひとりの主体的な参加により、アライ表明者は年々増加しています。

対外的には、Tokyo Pride 2025 でブースを出展し、医療環境に関するアンケートも実施し、その後の啓発活動につなげました。パレードには約160名の社員とその同伴者が参加しました。また、医療従事者に向けては学会でもブースを出展し、継続的に啓発活動を行っています。さらに、誰もが安心して受診できる医療環境を目指し、啓発アライアンス「Pharma for PRIDE」として他の製薬会



社と緊密に連携しながら啓発を進めてきました。年2回の勉強会も継続的に開催し、医療界や医学生、行政に向けても当事者の声を発信してきました。

社長のティアゴ・カンポス ロドリゲスは結果を受けて次のようにコメントしています。「この度の連続ダブル受賞を光栄に思います。インクルーシブな職場環境においてこそ、社員一人ひとりが持つ力を最大限に発揮でき、イノベーションを生み出し、患者さんにより良い製品を届けることができるのです。それは、社員の働きがいの源泉でもあります。これからも、インクルージョンを指針に意思決定とリーダーシップを発揮し、より健やかな未来のため、全ての人の力を引き出すことで、パフォーマンスや成長、持続可能なインパクトを生み出していきます」

PRIDE 指標について

「PRIDE 指標」は、LGBTQ+など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するために work with Pride が 2016 年に策定した日本で初めてとなる LGBTQ+ に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。

Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)の5つの指標で構成されており、各指標内で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、点数により、ゴールド、シルバー、ブロンズとして企業・団体が認定されます。

レインボー認定について

LGBTQ+など性的マイノリティが自分らしく働ける職場・社会づくりの実現に向け、自社単独の取り組みでできる範囲を超えて、国・自治体・学術機関・NPO/NGO などとの、セクターを超えた協働を推進する企業・団体を評価する評価指標です。

work with Pride について

一般社団法人 work with Pride は、企業などの団体における LGBTQ+など性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体です。年に一回、企業・団体の人事・人権・ダイバーシティ担当者を主な対象に、LGBTQ +に関するカンファレンスの開催や、『PRIDE 指標』、『レインボー認定』の運用等を行っています。

<https://workwithpride.jp/>

* コレクティブ・インパクトは、「(企業や行政、NPO などの)異なるセクターから集まった重要なプレイヤーたちのグループが、特定の社会課題の解決のため、共通のアジェンダに対して行うコミットメント」と定義されています。出典:レインボー認定とは。詳細はこちらから。<https://workwithpride.jp/pride-i/rainbow/>



Pharma for PRIDE について

LGBTQ+をはじめ、誰もが安心して働ける心理的安全性の高い職場・業界を実現するため、より多くの社員への啓発に加え、製薬業界全体での啓発を目指すことを目的に、2022年に発足したアストラゼネカ、アッヴィ、アレクシオンファーマ、サノフィ4社による啓発アライアンスです。

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。 [Facebook](#)、[Instagram](#)、[X\(旧 Twitter\)](#) や [YouTube](#) や [LinkedIn](#) でも情報を公開しています。

日本においては主に、免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がん、アイケアの領域、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスのポートフォリオで、製品の開発と提供に取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.co.jpをご覧ください。 [Facebook](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

アッヴィの ERG PRIDE の活動の詳細はこちらからご覧いただけます。

<https://www.abbvie.co.jp/join-us/life-at-abbvie/employee-resource-groups/abbvie-pride.html>